

ピアノを主専攻とする学生の芸術的嗜好に関する調査

研究代表者 准教授 鈴木二美枝
専任講師 石綿 絵美
専任講師 尾辻 俊昭
専任講師 金井喜一郎

はじめに

音楽大学では、音楽を通して豊かな人生を送ってほしいという願いを込めて、将来直接的に職業へと繋がるであろう内容の教育に加え、様々な人間教育を日々行っている。短期大学部においては2年間という短い期間で、どのような学習内容を経て必要なスキルを身につけさせ社会へ送り出していくか、短期大学部の共同研究会において、これまで何度も話題となってきた。

ただ長時間練習をするだけでは豊かな表現力に繋がらないのである。表現は、心身ともに健やかで、その上豊かな感受性を持った人物が能動的に活動することによって生み出されるものである。「音楽」という芸術的な表現活動において、豊かな芸術性は、その人物の人間性が投影された豊かな人生から生まれる、ということは明らかであろう。

表現力向上につながる人間性成長の様々なアプローチ方法を検討するため、当グループでは短期大学部のピアノコースの学生を対象に、アンケート調査を行い分析考察することとした。学生はどのように感じ考えて演奏をしているのか、音楽に関わる内容と様々な芸術的嗜好の調査を行うことで、彼らの現在のアプローチ法を探りたい。そしてどのようにしたらより効率よく成長していけるのか、彼らの活動の実態を調査し、今後の短大カリキュラムへ反映させていくヒントが得られればと願う。

調査方法

ピアノを主専攻とする学生の芸術的嗜好を調査するため、以下のような10項目の質問を作成した。

問1では「好きな曲の曲名」を3曲まで自由記述で回答させた。

問2では「どんな感じの曲が好きか」について、「明るい曲、静かな曲、暗い曲、速いテンポの曲、ゆっくりな曲、その他」の選択肢から3つまで選ばせた。

問3では「好きな作曲家」の名前を3人まで自由記述で回答させた。

問4では「どの時代の音楽が好きか」について「バロック時代、古典派、ロマン派、近現代、その他」の選択肢から2つまで選び回答させた。

問5では「なぜピアノを弾くのか」について自由記述で回答させた。

問6では「音楽を楽しんでいるか」について、「とても楽しんでいる」～「楽しんでいない」の5件法により選択回答させた。

問 7 では「様々な芸術などを鑑賞する頻度」を、「実際に会場に足を運ぶ回数」と「テレビ・DVDなどを視聴する回数」の頻度について、「ほとんどない（数年に1回以下）」～「頻繁にある（毎週のようにある）」までの5種類の選択肢から回答させた（芸術についての選択肢は、図書館十進法の芸術の項目などを参考に作成した）。

問 8 では「趣味や習い事をする頻度」について、「現在はしていないが、過去にはしていた」場合、また、それら「趣味や習い事に関心があるか」について「おおいに関心がある」～「関心が全くない」の5件法により選択回答させた。

問 9 では「学生生活に満足しているか？」を「満足している」～「不満である」の5件法により選択回答させた。

問 10 では「卒業後の進路」について、「演奏家」「作曲・編曲家」「音楽関係の民間企業」など11個の進路から1～2個、選択させた。

アンケートは、短期大学部ピアノコース1、2年生を対象に2013年11月14日に実施した。対象学生が受講する授業時に配付し、その場で学生が記入し、全員から回答を得ることができた。回答数は2年生11名、1年生10名、計25名であった。

調査結果

問1～問5までの結果は表1～表5の通りである。なお、問4「どの時代の曲が好きか」では、1年と2年の回答に差が見られたが、他の問については、学年間の明確な相違がみられなかったため、1年、2年を合計し、短大全体のデータについて分析した。

問1「好きな曲」は、学生それぞれの好みにより回答が多岐にわたるため、結果をそのまま表示した。表1では、作品が特定できるものについては表記の統一を試みたが、記述によって1曲に特定できない場合には【番号不明】のように記した。

問2「どのような曲が好きか」および問3「好きな作曲家」についても、回答はやはり多岐にわたっている。

問4「どの時代の曲が好きか」については、2年生には「ロマン派」「近現代」を好む学生が多く、1年生には「古典派」「ロマン派」を好む学生が多いという傾向が見られた。

問5「ピアノを弾く理由」は、学生1人あたり1～2個の、計37個の回答を得た。その内訳は、「好きだから」が8人（「ピアノの音が好き」「音色が好き」を含む）、「楽しいから」が7人（「弾けるようになった時が楽しいから」「娯楽」を含む）、「気持ち良い」「落ち着く」など7人（「リラックス」「幸せな気持ちになれる」「悲しい時・悩みがある時に落ち着ける」などを含む）、「自分を表現するため」4人、「成長できる」4人（「上手くなりたい」「弾けるようになりたい」含む）、「打ち込める」「努力することを忘れたくない」2人、「自分の将来のために」2人、「人に聴いてもらいたい」「母が喜ぶ」2人であった。

問6「音楽を楽しんでいるか」については表6の通り、多くの学生が音楽を楽しんでいるようであった。

表 1 : 問 1 の結果

回答者数 各 2 名	ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第 2 番 op.18 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 [番号不明] ベートーヴェン：ピアノソナタ第 8 番 op.13 「悲愴」	ラヴェル：道化師の朝の歌 ラヴェル：ピアノ協奏曲 [詳細不明] シューマン=リスト：献呈 S.566
回答者数 各 1 名	ショパン：バラード 第 1 番 op.23 ショパン：バラード 第 3 番 op.47 ショパン：舟歌 op.60 ショパン：ノクターン 嬰ハ短調 遺作 ショパン：ノクターン op. 27-2, op. 48-1 ショパン：即興曲 第 2 番 op.36 ショパン：ソナタ 第 1 番 op.4 ショパン：エチュード op. 10-4 ショパン：エチュード op.25-11 「木枯らし」 ショパン：ノクターン [番号不明] ショパン：バラード [番号不明] ショパン：マズルカ [番号不明] ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第 5 番 op.73「皇帝」 ベートーヴェン：ピアノソナタ 第 1 番 op.2-1 ベートーヴェン：ピアノソナタ 第 14 番 「月光」op.27-2 ベートーヴェン：ピアノソナタ 第 15 番 「田園」op.28 ベートーヴェン：ピアノソナタ 第 23 番 「熱情」op.57 ベートーヴェン：交響曲 第 4 番 変ロ長調 op.60 ベートーヴェン：交響曲 第 7 番 イ長調 op.92 ドビュッシー：巫麻色の髪の乙女 ドビュッシー：アラバスク [番号不明]	ドビュッシー：「版画」より グラナダのタバ ドビュッシー：夢 リスト：愛の夢 第 3 番 リスト：ため息 リスト：パガニーニ [詳細不明] ブラームス：ピアノソナタ 第 1 番 ブラームス：変奏曲 [詳細不明] パッヘルベル：カノン ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲「四季」 バッハ：クラヴィア協奏曲 [詳細不明] モーツァルト：2 台のピアノのためのソナタ メンデルスゾーン：五月のそよ風 シューマン：トッカータ チャイコフスキー：6 月 September [詳細不明] グリーグ：ピアノ協奏曲 ロマン派の曲 [詳細不明] ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ プーランク：エディットピアフをたたえて プロコフィエフ：ピアノソナタ 第 3 番 三善 晃：波のアラバスク

表 2 : 問 2 の結果

選択肢	人数
明るい	16
静かな	8
暗い	14
速いテンポ	10
ゆっくりなテンポ	12
その他	7

「その他」の記述

- ・3 つまでしか選択できなかったが、ゆっくりな曲も好きです
- ・ジャズのような響きの曲
- ・印象派のなんともいえないハーモニーが好き
- ・明るい所と暗い所の両方が入っている曲、静かめの所と盛り上がる所の両方共にきれいな曲
- ・優しさを感じられる美しい曲。一口に静か、速いテンポ等で表現するのは難しいですが、生きる希望が湧いてくるような曲も好きです
- ・めりはりのある曲が好き。どちらかというドラマティック
- ・暗くて、どろどろした曲

表 3 : 問 3 の結果

作曲家	人数
ショパン	15
ベートーヴェン	8
ドビュッシー	7
リスト	7
モーツァルト	5
ラヴェル	5
チャイコフスキー	3
バッハ	2
ブラームス	2
シューマン	1
スクリャーピン	1
フォーレ	1
グリーグ	1
ドヴォルザーク	1
ラフマニノフ	1
メンデルスゾーン	1
ガーシュイン	1
メンデルスゾーン	1
プロコフィエフ	1

表 4 : 問 4 の結果

時代	人数 (1 年生)	人数 (2 年生)	人数 (合計)
バロック	0	4	4
古典	1	9	10
ロマン	10	11	21
近現代	7	2	9

表 5 : 問 5 の結果

自由記述	人数
好きだから	8
楽しいから	6
ピアノを弾くと落ち着くから	4
自分自身を表現するため	4
気持ちの良い思いをするため	2
自分の将来のために	2
上手になりたいから	2
人に聴かせてあげたいから	2
熱中できる	2
ほめられるから	1
成長できるから	1
きれいだから	1
先生が尊敬できるから	1
出来なかったところができるようになると嬉しいから	1
母が喜ぶから	1
そこにピアノがあるから	1
娯楽	1
努力することを忘れたくないから	1
幸せな気持ちになれるから	1
カッコいい曲が弾けるようになりたいから	1
自分の知らなかった面をまれに見られるから	1

表 6 : 問 6 の結果

選択肢	人数
とても	14
まあまあ	9
ふつう	0
あまり	2
まったく	0
その他	3

「その他」の記述

- ・今、怪我をしていてピアノを満足に弾けないため、音楽を楽しむとしても、怪我を思い出すため
- ・今はレッスンを終えるために必死なので、曲を仕上げしっかり自分のものにして、人前で自由に弾けるようになったら楽しいです
- ・よくわからない

表7：問7の結果

選択肢	実際に会場に足を運ぶ回数 1か所○をつけてください					テレビ・DVDなど視聴回数 1か所○をつけてください				
	1 ほとんどない (数年に1回以下)	2 まれにある (数か月に1回程度)	3 時々(月1回程度) ある	4 よくある (月に数回) ある	5 頻繁に (毎週のように) ある	1 ほとんどない (数年に1回以下)	2 まれにある (数か月に1回程度)	3 時々(月1回程度) ある	4 よくある (月に数回) ある	5 頻繁に (毎週のように) ある
ピアノのコンサートを聴く	2	11	8	4	0	6	4	6	5	4
ピアノコンチェルトを聴く	8	13	3	0	0	5	10	3	4	3
オーケストラを聴く	5	12	6	2	0	5	7	4	7	2
ブラスを聴く	10	11	3	1	0	10	6	3	4	2
声楽を聴く	9	13	2	1	0	11	6	4	2	2
オペラを聴く	12	12	1	0	0	14	7	0	2	2
弦楽を聴く	10	13	1	0	0	14	4	1	4	2
管楽を聴く	11	11	3	0	0	13	4	2	4	2
日本の伝統音楽(雅楽など)を聴く	21	4	0	0	0	18	3	3	0	0
J-Popを聴く	14	3	3	2	3	5	1	5	1	13
ジャズを聴く	15	5	2	1	1	11	5	3	2	3
日本の伝統演劇(歌舞伎・浄瑠璃)鑑賞	21	3	0	0	0	20	4	0	0	0
ミュージカルを観る	20	5	0	0	0	20	2	3	0	0
歌劇(宝塚など)を観る	23	0	1	1	0	21	1	1	0	2
演劇を見る	22	3	0	0	0	18	6	0	0	1
美術館で絵画などを鑑賞する	12	13	0	0	0	15	6	3	1	0
博物館を観覧する	19	5	1	0	0	19	5	0	0	1
バレエを観る	25	0	0	0	0	23	2	0	0	0
フィギュアスケートを観る	25	0	0	0	0	9	11	4	1	0
体操・新体操を観る	25	0	0	0	0	15	6	4	0	0
映画を観る	6	14	3	2	0	4	4	9	5	2
大衆演芸(寄席、落語)	25	0	0	0	0	19	4	0	1	0
サーカス	25	0	0	0	0	23	1	0	0	0
日本伝統建築(神社・仏閣・城など)観覧	18	5	2	0	0	19	5	0	1	0
西洋建築をみる	22	3	0	0	0	18	6	0	0	1
美しい風景をみる	7	7	6	4	1	8	7	4	3	3
その他()										

表 8 : 問 8 の結果

選択肢	現在、どれくらいしていますか1か所○をつけてください					現在 はして いない が、過 去には していた	関 心 が あ り ま す か ? 1か所○をつけてください				
	1 ほと んど ない (数年 に1回 以下)	2 まれ にある (数か 月に1 回程度)	3 時々 (月1 回程度) ある	4 よく ある (月に 数回) ある	5 頻繁 に(毎 週のよ うに) ある		1 関 心 が 全 く な い。	2 関 心 が あ ま り な い。	3 ふ つ う	4 そ れ な り に 関 心 が あ る	5 お お い に 関 心 が あ る
ピアノ以外の楽器	6	0	1	1	2	11	0	1	3	9	9
作曲	15	3	1	2	0	2	3	6	3	8	4
作詞	20	1	0	2	0	0	4	5	6	5	3
詩や小説を書く	16	0	0	1	2	4	8	4	4	3	4
茶道	20	1	0	0	0	3	6	3	7	4	2
華道	21	2	0	0	0	1	6	5	6	6	0
日本舞踊	23	0	0	0	0	0	10	7	4	2	0
日本の伝統音楽(三味線・和太鼓など)	20	1	0	0	1	1	5	5	7	5	0
絵画(油絵・水彩画・水墨画など)	17	2	0	0	1	1	6	6	2	5	3
マンガを読む	7	6	4	4	2	0	3	3	7	4	6
イラスト・デザインを書く	17	2	2	1	1	0	5	5	7	4	2
パソコンによるグラフィック	22	1	0	0	0	0	8	9	3	2	1
パソコンプログラミング、ゲーム作り	22	1	0	0	0	0	12	8	1	1	1
彫刻・工芸(竹細工など)	21	2	0	0	0	0	9	5	6	2	1
ビーズ、ガラス細工など	18	1	0	0	0	5	6	4	8	5	0
織物・縫い物・手芸	8	3	3	1	0	9	4	6	5	6	3
写真や映画を撮影(自分で撮る)	10	6	2	3	1	2	7	2	5	5	4
写真集や写真展などを見る	13	8	3	0	0	0	5	3	7	5	3
読書	4	5	8	3	4	0	2	4	4	4	10
書道	16	1	1	0	0	6	9	3	5	3	4
バレエ	23	0	0	0	0	1	9	6	6	1	1
ダンス	19	1	0	0	0	4	9	3	6	2	3
ミュージカル	24	0	0	0	0	0	6	5	5	2	5
料理	7	1	0	4	12	0	2	2	4	4	12
お菓子作り	8	7	2	6	1	0	1	1	5	7	10
ファッション	7	1	3	3	6	0	1	2	5	9	7
インテリア・小物	8	3	4	4	2	0	3	1	4	5	11
その他()											

問7「様々な芸術などを鑑賞する頻度」の結果は、表7である。「ピアノのコンサートを聴く」が、会場での視聴、テレビ・DVDなどの視聴とも多かった。「ピアノ・コンチェルトを聴く」は、会場での視聴は「まれに」程度の学生が多いが、テレビ・DVDを通じた視聴はやや多い傾向がある。「オーケストラ」「ブラス」「声楽」「オペラ」「弦楽」「管楽」などのクラシック、および「ジャズ」も、同様にテレビ・DVDも含めると、学生の半数ほどは、少なくとも数か月に1回程度ずつは視聴しているようである。「J-Pop」は、テレビ・DVDで視聴を頻繁にする学生が半数ほどであり、会場に足を運ぶ学生も見受けられる。ただ、J-popは、平均値としては高いが、「ほとんどない」学生も5人おり、接する学生とあまり接しない学生に分かれる傾向があるようである。それ以外の芸術については、「映画」「美しい風景」が、「ほとんどない」～「頻繁にある」までゆるやかに分散している（あまり接しない学生～よく接する学生までそれぞれのペースである）。「フィギュアスケート」は実際に会場に足を運ぶ学生はいなかったが、テレビ・DVD視聴は「まれに」「時々」している学生が多い。「美術館での絵画鑑賞」は、実際に会場に足を運ぶことが「まれにある」学生が半数程度であった。他の項目については、頻度が「ほとんどない」「まれにある」学生が多く、「頻繁にある」学生は少数であった。

趣味や習い事の頻度に関する問8の結果は、表8に示すとおりである。頻度が最も高いのは「料理」であった。これは趣味というより、必要に迫られて行っていることを示すものであろう。また「ピアノ以外の楽器」は、「現在はしていないが、過去にはしていた」人数が最も多かった。ピアノ専攻の学生であっても、専攻以外の楽器の経験が少なくないことが読み取れる。それ以外に関しては「マンガを読む」、「織物・縫い物・手芸」、「読書」、「お菓子作り」、「ファッション」、「インテリア・小物」を除くと、その頻度は「ほとんどない（数年に1回以下）」が多数を占めている。しかしながら関心の有無を見ると、多少なりとも関心があることが伺える。例えば「作詞」や「茶道」は、それぞれ20名の学生が「ほとんどない（数年に1回以下）」と回答しているが、関心度については「ふつう」、「それなりに関心がある」、「おおいに関心がある」の合計が、「作詞」は14名、「茶道」は13名であった。

また、問9「学生生活の満足度」は、表9の通りである。多くの学生が「満足」「まあまあ満足」「ふつう」と回答している。表10は、問10「卒業後の進路」の回答である。

表9：問9の結果

選択肢	人数
満足	10
まあまあ	10
ふつう	3
あまり	0
不満	1

表10：問10の結果

選択肢	人数
演奏	0
作曲	0
音楽関係	5
民間	1
教員	2
公務員	0
学部編入	9
大学院	0
留学	0
その他	5
決めていない	6

結果の考察

(1) 楽曲、作曲家、時代についての嗜好

問1「好きな曲」、問2「どのような曲が好きか」、問3「好きな作曲家」については「調査結果」にもあるように回答が多岐にわたっている。これらの回答から、問1では各学年の学習環境が大きく影響していることがわかる。本アンケートは11月に実施したものであり、1年次においては受験準備のための楽曲に取り組み入学試験を経て、前期実技試験で古典派のピアノソナタを演奏しロマン派に学習の幅を広げてきた時期にあたる。また、2年次においては、1年次から古典派、ロマン派を中心に学び、近現代の楽曲に取り組むというタイミングでの実施となった。回答にモーツァルト、ベートーヴェン、ショパン、シューマン、リスト、チャイコフスキー、トビュッシー、ラヴェル、プロコフィエフ、ラフマニノフ等の作曲家が具体的にイメージされていることは、ピアノ学習背景がそのまま現れていることがわかる。また、2台ピアノ曲が記述されていることは、必修科目「ピアノ演奏研究①②」においてピアノ連弾及び2台ピアノ曲を学ぶこと、協奏曲については学内におけるコンサートや「コンチェルト定期演奏会」等鑑賞する機会が影響していると言える。そして、全てにおいて言えることは、普段の生活の中で、様々な媒体を通して世間で熟知されている楽曲が多いことである。問2「どのような曲が好きか」については、「明るい⇔暗い」や「速い⇔ゆっくり」の対照的な好みはほぼ同数で、それぞれに偏りが無かった。また、自由記述においては、選択肢では表現しきれない複数内容が盛り込まれ、音楽における一人一人の「好き」の感性は様々なニュアンスにより満たされることがわかった。問3の「好きな作曲家」と問4「どの時代の曲が好きか」については、「調査結果」にある通りであり、問1で述べたように学習背景が影響していると考えられる。

(2) ピアノ、音楽との向き合いかた

問5「ピアノを弾く理由」は「調査結果」にあるように37個の回答を得ている。ピアノを学ぶこと・演奏することは、「自己表現」、「自身の成長の手応え」、「自己への探究心」、「心身バランス」、「将来」、「夢」、「人の幸せのため」など、回答の全てが学生一人一人の思考にプラスに働きかけており、学生がピアノを演奏することに様々な意味を見だし、自己のモチベーションとしていることがわかる。そして、各学生の人生に、ピアノが密接に関わり重要な意味を有していることが現れている。問6「音楽を楽しんでいるか」については、「とても」と、「まあまあ」「あまり」「その他」とで半数ずつ回答が得られた。音楽は楽しむが、実際にピアノレッスンや実技試験等があることから、楽しんでばかりはいられない、というのが現状であろう。

(3) 様々な芸術に対する嗜好について

問7「様々な芸術などを、鑑賞する頻度」については、「調査結果」において分析が述べられている。「ピアノコンサート」～「バレエを観る」までは、鑑賞の頻度はともかく、必

修科目「芸術特別研究①②」による幅広い芸術鑑賞が大きく影響していると言えよう。以降は身近な「映画を観る」に多く回答が得られている。また、「美しい風景をみる」に多くの回答を得ていることは特徴的である。「美しい風景をみる」ことそのものが目的とは限らず、美しい風景をみることで個人の感性に訴えかけてくるものを求めているのではないかと考えられる。問8「趣味や習い事の頻度」では、関心の有無においては「ふつう」「あまりない」に多くの回答を得ている。実際にしているかどうかについては「ほとんどない」の回答が多かった。その中でも、「関心」と「実際」共に回答しているものがある。「ピアノ以外の楽器」「詩や小説を書く」「マンガを読む」「イラスト・デザインを書く」「織物・縫い物・手芸」「写真や映画を撮影（自分で撮る）」「読書」「料理」「お菓子作り」「ファッション」「インテリア・小物」である。彼らの学んでいる音楽においてはピアノに限らず、演奏の生の音は形として残らないのである。この趣味に関する設問への回答から、自己表現のできるもの、形の残るもの、自分の感性で味わうもの、自分の感性を活かして生み出すもの、マイペースで取り組めるもの、美しく仕上げるもの、に関心があることがわかる。

(4) 学生生活・進路について

問9「学生生活の満足度」は「調査結果」の通りである。問10「卒業後の進路」の設問に対して、継続して学ぶ「学部編入」に多く回答があることは、問9の回答からも理解できる。就職については、「音楽関係」「教員」に多く回答が得られたことから、本学で学んだことを活かしたいと考えていることがわかる。「決めていない」にも回答が多くみられるのは、選択には自身の考えのみでは回答できないこと、進路を考えている途中・モラトリアムの時期であることなどもうかがえる。

総括

調査結果を総括すると、学生達の芸術的嗜好には、本学での学びの背景が大きく影響を与えていること、そして学生たちは感性に触れることに興味・関心を持っていることがわかった。彼らの学びの成果は、刺激も含め、個々の音楽的知識の獲得や芸術的な嗜好に好影響を与えていると言えよう。関心はあり、テレビ・DVD等で鑑賞はするが、実際に劇場に足を運び生の舞台を鑑賞する頻度が低いことは特筆すべきことである。「芸術特別研究①②」等で与えられたものは受け入れるが、自ら能動的に芸術鑑賞の情報を得て実際に劇場に足を運ぶことなどについては、積極的ではないことが問題点としてあげられるのではないだろうか。それは、彼らに時間的、経済的な余裕のないことが要因のひとつと考えられる。このような受動的な傾向にある学生達に対して、芸術に関する自発的な知識欲や欲求を高めて行ける教育を、如何に提供するかが今後の課題と言えよう。

資料：芸術的嗜好調査のための「学生アンケート」

学生アンケート

このアンケートは、「ピアノを主専攻とする学生の芸術的嗜好」についての全体傾向を探る調査です。調査結果は、全体の傾向を探る研究のためにのみ使用し、特定の個人について分析するものではなく、評価等には使用しません。各自の思った通りに、自由に回答してください。

学年 () 年) 学籍番号 () 氏名 ()
 (氏名は、書かなくてもよいです。)

問1 あなたの好きな曲の、曲名を3曲まであげてください。

問2 上記の曲を含めて、あなたの好きな曲はどんな感じの曲でしょうか。下の選択肢からあてはまるものがあれば、3つまで、○をつけてください。
 明るい曲 () 静かな曲 () 暗い曲 ()
 速いテンポの曲 () ゆっくりな曲 ()
 その他、こんな感じの曲が好き、ということがあれば、自由に書いてください。

問3 好きな作曲家の名前を3人まで挙げてください。

問4 どの時代の音楽が好きですか。2つ選び、○をつけてください。(上であげた、作曲家と同じ時代でも別の時代でもかまいません。)
 バロック時代 () 古典派 () ロマン派 () 近現代 ()
 その他(あれば、自由に書いてください) ()

問5 なぜあなたはピアノを弾くのでしょうか?理由を自由に書いてください。箇条書きでよいです。

問6-1 日々の生活の中で、あなたは、音楽を楽しんでいますか?

以下の選択肢から1つ選んで○をつけてください。

とても楽しんでいる () まあまあ楽しんでいる () ぶつう ()
 あまり楽しんでいる () 楽しんでいない ()

→ 上の質問で、「あまり楽しんでいる」「楽しんでいない」と答えた方にお聞きします。どうしたら、音楽を楽しめるでしょうか?自由に書いてください。

日常生活についてお聞きします。

問7 以下のようなこと(様々な芸術など)を、どれくらい鑑賞することがありますか。

鑑賞の頻度を、「実際に会場に足を運ぶ回数」を左側から1つ、「テレビ・DVDなどを視聴する回数」を右側から1つ、だいたいどの頻度で結構ですので、選んで○をつけてください。

実際に会場に足を運ぶ回数
 1か所○をつけてください

テレビ・DVDなど視聴回数
 1か所○をつけてください

5	頻繁に(毎週のように)ある
4	よくある(月に数回)ある
3	時々(月1回程度)ある
2	まれにある(数か月に1回程度)
1	ほとんどない(数年に1回以下)

5	頻繁に(毎週のように)ある
4	よくある(月に数回)ある
3	時々(月1回程度)ある
2	まれにある(数か月に1回程度)
1	ほとんどない(数年に1回以下)

- ピアノのコンサートを聴く
- ピアノコンチェルトを聴く
- オーケストラを聴く
- 声楽を聴く
- オペラを聴く
- 弦楽を聴く
- 管楽を聴く
- 日本の伝統音楽(雅楽など)を聴く
- J-Popを聴く
- ジャズを聴く
- 日本の伝統演劇(歌舞伎・浄瑠璃)鑑賞
- ミュージカルを観る
- 歌劇(宝塚など)を観る
- 演劇を見る
- 美術館で絵画などを鑑賞する
- 博物館を観覧する
- パレートを観る
- フィギュアスケートを観る
- 映画を観る
- 体操・新体操を観る
- 大衆演芸(奇席、落語)
- サーカス
- 日本伝統建築(神社・仏閣・城など)観覧
- 西洋建築をみる
- 美しい風景をみる
- その他()

